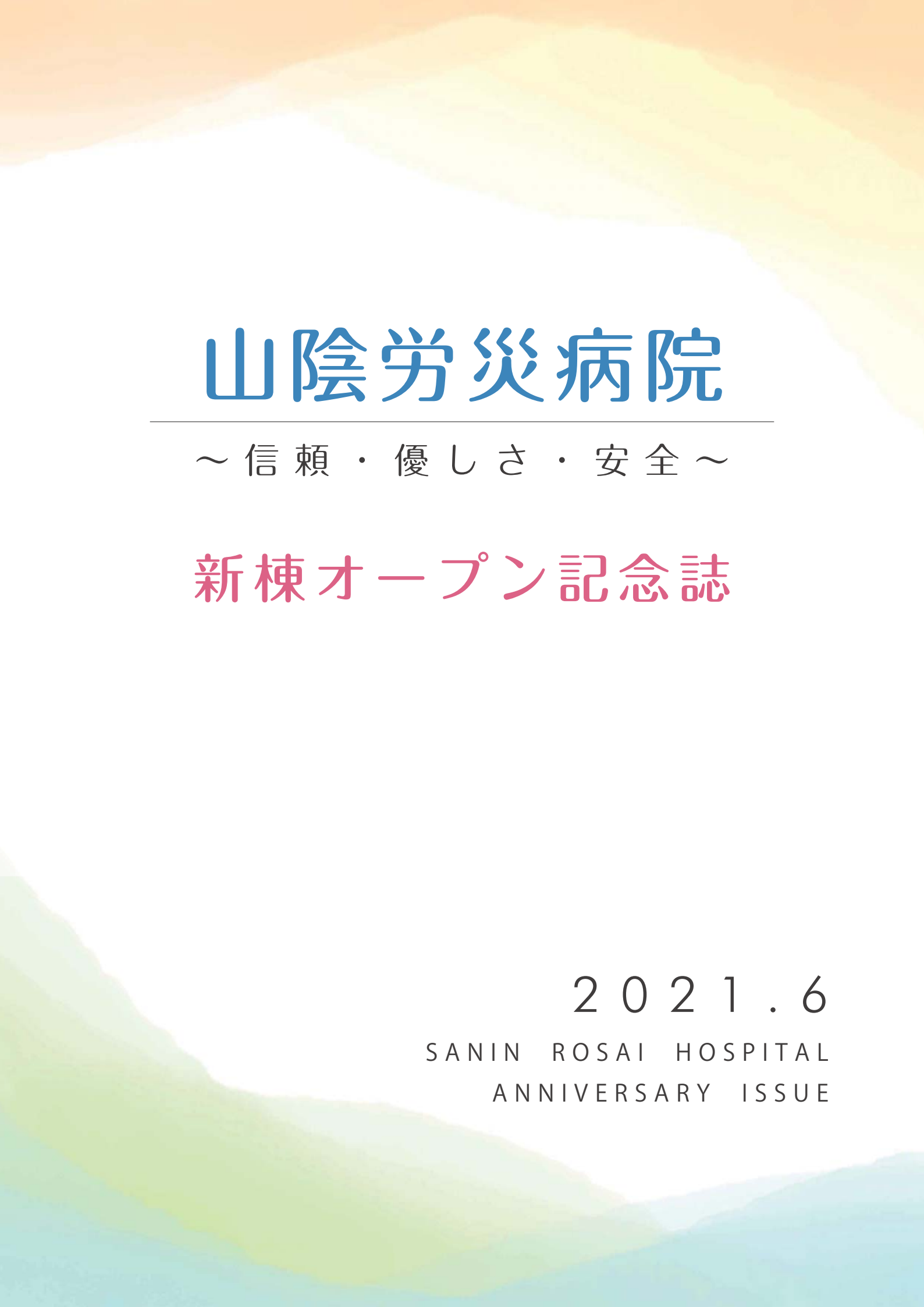




山陰労災病院

～ 信 頼 ・ 優 し さ ・ 安 全 ～

新棟オープン記念誌

2021.6

SANIN ROSAI HOSPITAL
ANNIVERSARY ISSUE

理 念

私たちは、信頼される・優しい・安全な医療を提供し、地域の皆様と勤労者の健康を守ります。

「信頼・優しさ・安全」

基本方針

- ・ 勤労者医療を担い、働く人々の健康維持に貢献します。
- ・ 救急医療に精励し、地域の信頼に応えます。
- ・ 地域の医療・介護・福祉機関と連携し、地域医療を支援します。
- ・ 最新の医学と医療を学び、患者さん中心の優しい医療を提供します。
- ・ 患者さんと協同し、安全、安心な医療を提供します。
- ・ 豊かな人間性と高い技能をもつ医療人を育成します。
- ・ 医療人としての誇りと志を持ち、働き甲斐のある病院作りを目指します。



令和7年予定 グランドオープン 北からの完成イメージ

新しい「労災」にご期待ください

山陰労災病院 院長 豊島 良太

山陰労災病院は、地域や勤労者の皆さまの健康を守ることを目的に昭和 38（1963）年に設立されました。それから 50 数年たちましたので、建物も古くなってきました。そのため、令和元年より新棟の工事をしていましたが、今年初めに完成し、3 月より運用しております。

新棟に入って直に見て頂くと良いのですが、コロナ禍でそれもかきません。本誌で新しくなった建物の施設や設備などをご覧頂きます。

新棟には、外来、入院の半分と救急や検査、画像の各センターそして手術室などが入りました。次頁以降の写真をご覧ください。外来や病室は、気持ちよく治療を受けて頂くために明るく落ち着いた雰囲気としています。検査室や手術室には、最新の診療機器を整備しました。

ところが、これで完了という訳ではありません。次に新棟の東側に、外来と入院の残り半分を入れる建物を新築します。皆さまにご不便を掛けないように対処しておりますが、工事に伴う駐車場や病院の出入り、診療などに関する情報を病院ホームページに随次載せますので、受診の際には本誌と合わせてご覧頂きますようお願い致します。

本院は理念として、「信頼される・優しい・安全な医療を提供します」と謳っています。この理念に則り、職員一同さらに優しい丁寧な医療の実践を目指しております。

皆さまには、新しい山陰労災病院にご支援並びにご期待頂きますようお願い申し上げます。



南からの新棟(左)と既存棟(右)の遠景

棟別部門配置図

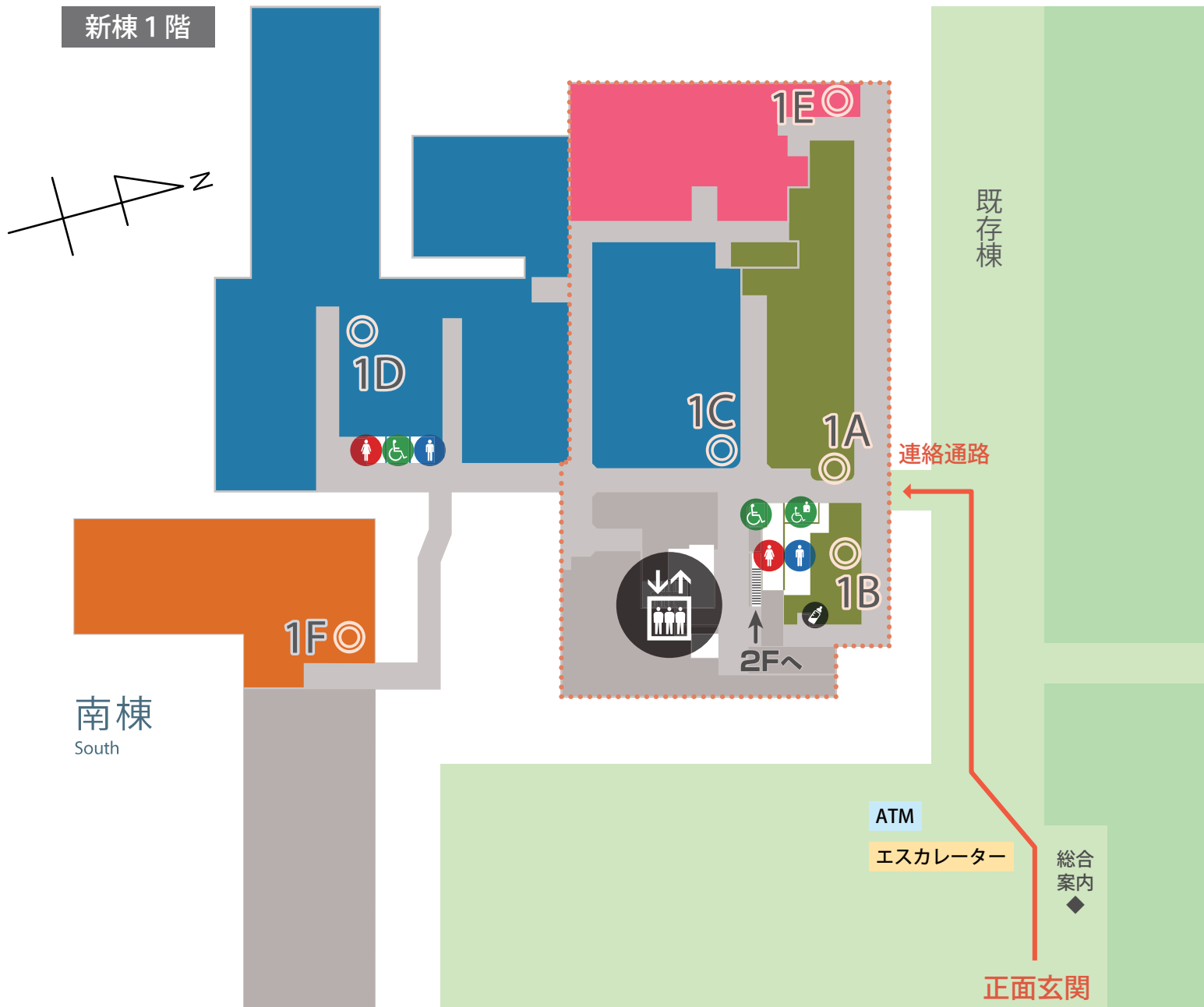
新棟(B棟)		西館(既存)	東館(既存)
6階	• 6B病棟(56床)	• 6階西病棟(47床)	• 6階東病棟(53床)
5階	• 5B病棟(52床)	• 管理部門	• 5階東病棟(54床)
4階	• 4B病棟(49床)	• 管理部門	• 4階東病棟(54床)
3階	• 中央手術室 • HCU(12床) • 麻酔科外来 • 臨床工学室 • 中央材料室	• 管理部門	• 腎センター • 会議室 • 小会議室
2階	• 2A外来 (内科、循環器内科、外科、心臓血管外科) • 検体検査室(採血室) • 生理検査室(心電図・エコー等) • 健診センター • 中央処置室	• 管理部門	• 心療科 • 皮膚科 • 眼科 • 歯科口腔外科 • 管理部門
1階	• 1A外来 (整形外科、脳神経内科、脳神経外科、泌尿器科) • 総合画像センター・放射線科外来 • 救急外来	• 耳鼻咽喉科 • 栄養管理室 • 売店	• 玄関ホール • 医事課 • 薬剤部 • 産婦人科 • 化学療法室

南棟

• リハビリテーション科

新棟 1 階、2 階平面図

1 階、2 階に各科外来、検査部門、総合画像センター、救急外来、健診センターを配置しました。救急外来の動線を考慮したレイアウトになっています。



1A 外来（整形外科、脳神経内科、脳神経外科、泌尿器科）
Outpatient Consultation

1B 小児科
Pediatrics

1C 総合画像センター
Imaging Center

1D 放射線科
Radiology

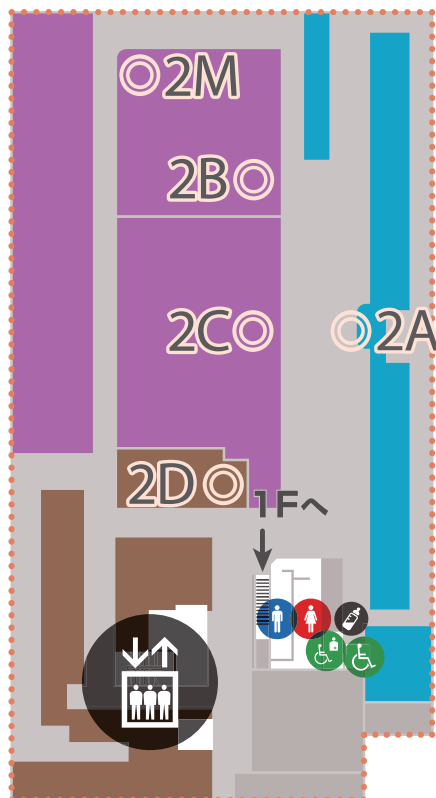
1E 救急外来 防災センター
Emergency Visit Emergency Control Center

1F リハビリテーション
Rehabilitation

既存棟

※ ◎は受付の位置を示しています。

新棟 2 階



2A 外来（内科、外科、循環器内科、心臓血管外科）
Outpatient Consultation

2B 中央処置
Treatment Room

2C 検体検査
Laboratory Test

2M 健診ドック
Medical check up

2D 生理検査
Physiology Laboratory

各エリアを色によるゾーニングで表現しています。

新棟各階のご案内

Floor Guide

6

6B 6 階 B 病棟
6F B ward

5

5B 5 階 B 病棟
5F B ward

4

4B 4 階 B 病棟
4F B ward

3

3B HCU
High Care Unit

3C 手術室
Operating Room

3D 麻酔科
Anesthesiology

2

2A 外来
Outpatient Consultation

2C 検体検査
Laboratory Test

2D 生理検査
Physiology Laboratory

2B 中央処置
Treatment Room

2M 健診ドック
Medical check up

1

1A 外来
Outpatient Consultation

1C 総合画像センター
Imaging Center

1E 救急外来
Emergency Visit

1B 小児科
Pediatrics

1D 放射線科
Radiology

東棟・西棟 連絡通路 / 南棟 連絡通路

各所に設置している案内板は、サインの色で各エリアを示しています。

新棟カラーコンセプト

地域に根ざした病院を目指し、自然と歴史に育まれた鳥取県西部のイメージを色で取り入れ、山陰労災病院の理念である「信頼・優しさ・安全」をコンセプトに掲げ病院整備を行っており、令和7年のグランドオープンに向けて、病院機能のさらなる充実を進めてまいります。



色のイメージ



自然豊かな大山



皆生の海岸



中海の夕景

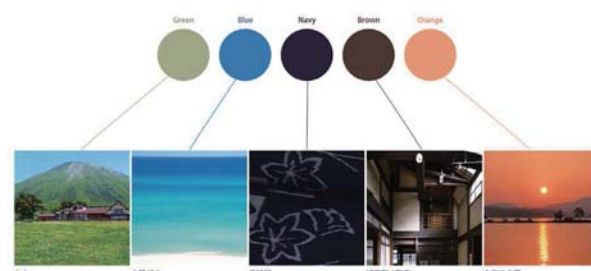
地域のイメージカラー

「青」皆生海岸、伝統工芸の染物（紺屋）、織物（弓浜紺）をイメージし、
「緑」自然豊かな大山、中海の夕景の「橙」

理念カラー

信頼をイメージする色は「青」です。
また、デザインはスタイリッシュモダンを意識し、
現代的で、静謐の中に凛とした聡明を感じる
デザインにしました。

皆生・・・「皆、生きる」＝ 健康で長寿の街





新病院外観（紺と白によりスタイリッシュにデザイン）

南西から見た新棟

外観

周辺の住宅地に配慮し、高層部分は水平ラインを強調した圧迫感のない外観デザインとしています。信頼、安心、清潔感を表す濃紺と白を基調色とし、アクセントカラーに地域のイメージカラーから橙を採用しました。



新病院外観



病院と大山

救急外来



広いスペースを確保した初療室

二次救急医療機関として「断らない救急医療」を掲げ、地域の信頼に応えるよう整備しました。

初療室を広く3ブース設け画像センター（レントゲン、CT、内視鏡）を隣接させました。直上階に検査部門を配置し搬送システムで検体を搬送し、効率の良い動線を整備しました。

スタッフステーションから見守りやすい位置に点滴ベッドを配置し、医療安全を図っています。

また、感染症外来を屋内外に設置し感染症対策を充実しました。



救急外来の待合室



救急外来の出入口



救急外来出入口前の“屋外”感染症外来
（専用トイレと隣接駐車スペースを備えています）



外来受付・待合（1A）
（整形外科、脳神経内科、脳神経外科、泌尿器科）



総合画像センター（1C）
（放射線部門、内視鏡部門を統合）

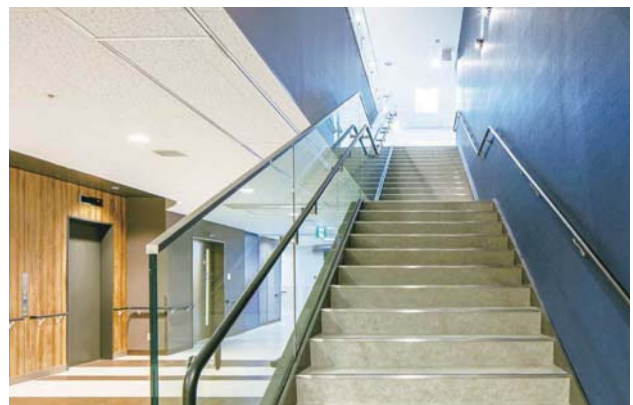
外来 1 階

各診療科の受付を集約することで、分かりやすい配置となっています。

救急外来と直結させることで、迅速な救急対応を可能としました。



1 階エレベーターホール



明るい2階への階段



間接照明により明るい2階待合
(内科、循環器内科、外科、心臓血管外科)

外来2階

青空照明や間接照明を採用し、窓の無い空間の
圧迫感を解消しました。



健診センター



コントラストをきかせた
2階エレベーターホール



外来受付 (2A)

手術室

6室設け、各部屋を広く最新の設備とシステムにより、安全な手術環境を実現しています。
患者さんの歩行入室を意識し、緊張感を和らげるさわやかな色合いの手術ホールです。
感染症にも対応できるよう陰圧にも切り替えられる手術室を完備しました。



明るく、清潔感のある手術室ホール



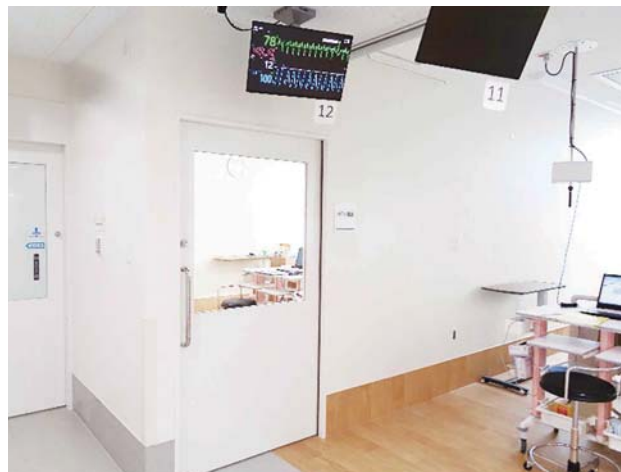
最新のシステムを導入した安全な手術室

HCU

8床から12床に増床し、各ブースを高度な治療に必要な多くの医療機器を配置できるよう広くしました。
感染症対策として陰圧個室を完備しています。
プライバシー確保にも配慮したシステムを採用しています。
スタッフステーションからの見守りやすさを重視したベッド配置となっています。



観察、見守りしやすいHCU



感染症用のHCU個室



明るく、ゆったりとした4床室

病棟

病室やスタッフステーションなど、全体を明るく、分かりやすい配置にしました。
患者さんの早期の機能回復を目指して、病棟各階にリハビリスペースを整備しました。



特別室はトイレ、シャワー室、ミニキッチン完備



個室はユニットシャワー、トイレを完備



明るく、ゆったりとした病棟デイルーム



病棟内のリハビリ室



開放的な病棟スタッフステーション



設備の充実した新生児室(8床)



陣痛・分娩室

医療機器

今回導入した80列CTは、人工知能技術を用いた画像再構成技術が搭載され、低被ばくで高画質な画像処理が可能となりました。

SPECT-CTは、SPECT装置とCTを融合させた装置で、同時にシンチグラフィーの機能画像とCT画像を撮影する事ができるため、シンチグラフィー画像の診断精度が飛躍的に向上しました。

新たに導入したマンモグラフィーは、低線量で高画質な画像の撮影を実現し、かつ乳房内部の構造を観察できる断層像も撮影できます。



CT



マンモグラフィー



SPECT - CT



検体搬送機

交通アクセス



バスをご利用の方へ

JR 米子駅 2 番または 3 番乗り場から「労災病院行」または「イオン行き」のバスに乗車し、『労災病院バス停』で下車してください。



独立行政法人
労働者健康安全機構 (JOHAS)

山陰労災病院

- 地域医療支援病院
- 臨床研修指定病院
- 救急告示病院
- 日本医療機能評価機構認定病院

〒683-8605 鳥取県米子市皆生新田 1-8-1
TEL.0859-33-8181 FAX.0859-22-9651
URL <http://www.saninh.johas.go.jp/>

